

# 地場企業の経営動向調査

(令和3年度第3四半期)

令和4年1月26日

 福岡商工会議所

総合企画部 企画広報グループ

TEL 092-441-1112

## (1) 調査目的

福岡市内地場企業(一部福岡市近郊を含む)の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

## (2) 調査対象

当所会員企業を対象とし2,000社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業1,906社(構成比率95.6%)、大企業94社(構成比率4.4%)により構成されている。

回答した企業数は468社、回答率23.4%となっており、回答企業の内訳は、中小企業445社(構成比率95.1%)、大企業23社(4.9%)となっている。

## (3) 調査要領

四半期毎にアンケートを実施し、今回ファクスおよびメールを利用した。

内容は前年同期比の回答を求めるもので、今回は令和3年10～12月期の実績、及び令和4年1月～3月期の予想について、令和3年12月時点で調査した。

## (4) 調査内容

※DI値を集計(DI=「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」)

DI・・・Diffusion Index(景気動向指数)の略

### 《 景気・経営動向調査 》

1. 自社・業界の景況
2. 生産額、売上額、完成工事高
3. 原材料・製(商)品仕入価格
4. 受注価格、販売価格
5. 製(商)品在庫
6. 営業利益
7. 資金繰り
8. 当面の経営上の問題点

## 調査対象企業数及び回収結果

規 模 別	対象数	回答数	回答率	回答結果 構成比
全 業 種	2,000	468	23.4%	
中 小 企 業	1,906	445	23.3%	95.1%
大 企 業	94	23	24.5%	4.9%

業 種 別	対象数	回答数	回答率	回答結果 構成比
全 業 種	2,000	468	23.4%	
建 設 業	345	101	29.3%	21.6%
土木建設業	141	40	28.4%	8.5%
建設付帯工事業	82	22	26.8%	4.7%
電気・管工事業	122	39	32.0%	8.3%
製 造 業	237	61	25.7%	13.0%
食料品製造業	74	10	13.5%	2.1%
繊維製品製造業	10	1	10.0%	0.2%
建材・木・紙製品製造業	10	2	20.0%	0.4%
印刷・製本業	46	11	23.9%	2.4%
窯業・土木製品製造業	9	2	22.2%	0.4%
金属製品製造業	21	12	57.1%	2.6%
一般機械器具製造業	22	7	31.8%	1.5%
電気機械器具製造業	21	9	42.9%	1.9%
その他製造業	24	7	29.2%	1.5%
卸 売 業	305	85	27.9%	18.2%
食料品卸売業	82	21	25.6%	4.5%
繊維製品卸売業	26	4	15.4%	0.9%
建材・住宅機器卸売業	39	13	33.3%	2.8%
金属・鋼材卸売業	5	3	60.0%	0.6%
一般機械器具卸売業	54	12	22.2%	2.6%
電気機械製品卸売業	8	1	12.5%	0.2%
石油・化学製品卸売業	11	2	18.2%	0.4%
その他卸売業	80	29	36.3%	6.2%
小 売 業	221	38	17.2%	8.1%
食料品小売業	56	7	12.5%	1.5%
衣料品・身の回り品小売業	33	7	21.2%	1.5%
石油・化学製品小売業	12	3	25.0%	0.6%
車両運搬具小売業	15	3	20.0%	0.6%
家電・厨房器具小売業	21	2	9.5%	0.4%
量販店	4	1	25.0%	0.2%
その他小売業	80	15	18.8%	3.2%
運 輸 ・ 倉 庫 業	115	29	25.2%	6.2%
旅客運送業	38	7	18.4%	1.5%
貨物運送・倉庫業	77	22	28.6%	4.7%
サ ー ビ ス 業	777	154	19.8%	32.9%
情報処理サービス業	109	28	25.7%	6.0%
その他事務所サービス業	375	68	18.1%	14.5%
ホテル・旅館・飲食業	103	19	18.4%	4.1%
その他の個人サービス業	190	39	20.5%	8.3%

# 1. 自社・業界の景況

《大幅に改善。次期は横ばいの見通し》

今四半期(令和3年10月～12月)の地場企業の景況判断は、全業種で「良くなった」と回答した企業割合は27.2%(前期比+9.0%)、「悪くなった」と回答した企業割合は29.3%(前期比▲12.5%)、「横ばい」と回答した企業割合は38.9%(前期比+3.1%)となった。景況判断指数DI値は▲2.1(前期DI値▲23.6)となり、前期比で+21.5ポイントと大幅に改善した。

業種別にみると、全ての業種において改善。具体的には、卸売業(前期▲18.5→今期+23.5、前期比+42.0)、小売業(▲43.7→▲15.8、前期比+27.9)、運輸・倉庫業(▲40.7→▲13.8、前期比+26.9)、建設業(▲39.0→▲19.8、前期比+19.2)、サービス業(▲7.5→+7.8、前期比+15.3)、製造業(▲23.5→▲19.6、前期比+3.9)と、全6業種において改善となった。

規模別にみると、中小企業(前期▲25.0→今期▲5.3)は前期比+19.7ポイント、大企業(+9.1→+56.5)は前期比+47.4ポイントと、いずれも大幅に改善した。

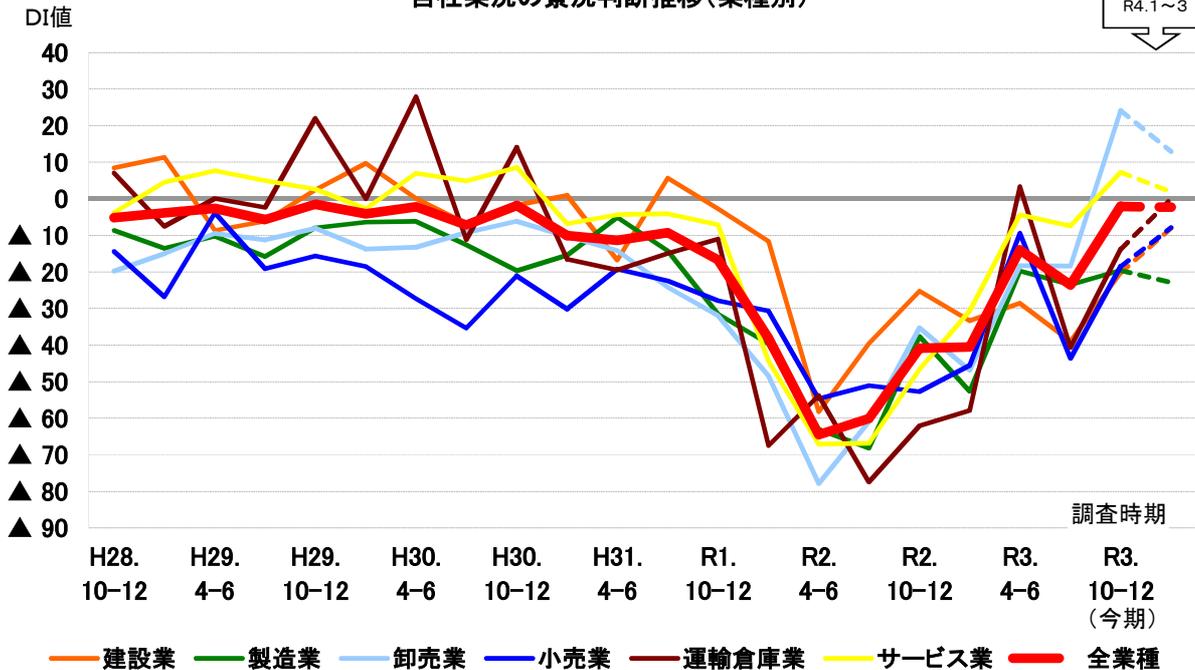
次四半期(令和4年1月～3月)予測については▲2.3となっており、今期比▲0.2ポイントとほぼ横ばいの見通し。

《 自社業況の総合判断(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

	今四半期(R3年10月～12月期)実績							次四半期(R4年1月～3月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	2.8	24.4	38.9	23.3	6.0	4.7	▲2.1	1.3	19.7	35.5	18.4	4.9	20.3	▲2.3
建設業	1.0	11.9	51.5	29.7	3.0	3.0	▲19.8	1.0	15.8	41.6	20.8	4.0	16.8	▲8.0
製造業	4.9	23.0	16.4	34.4	13.1	8.2	▲19.6	3.3	11.5	21.3	29.5	8.2	26.2	▲22.9
卸売業	3.5	40.0	32.9	15.3	4.7	3.5	23.5	1.2	29.4	32.9	15.3	2.4	18.8	12.9
小売業	0.0	26.3	26.3	31.6	10.5	5.3	▲15.8	2.6	23.7	26.3	23.7	10.5	13.2	▲7.9
運輸・倉庫業	3.4	13.8	48.3	24.1	6.9	3.4	▲13.8	0.0	17.2	51.7	17.2	0.0	13.8	0.0
サービス業	3.2	26.0	44.2	16.9	4.5	5.2	7.8	0.6	19.5	37.7	13.0	5.2	24.0	1.9
中小企業	2.2	23.1	39.3	24.3	6.3	4.7	▲5.3	1.3	18.4	35.3	19.1	5.2	20.7	▲4.6
大企業	13.0	47.8	30.4	4.3	0.0	4.3	56.5	0.0	43.5	39.1	4.3	0.0	13.0	39.2

自社業況の景況判断推移(業種別)



## 2. 生産額、売上額、完成工事高

《大幅に改善。次期もわずかに改善する見通し》

生産額、売上額、完成工事高については、全業種で「増えた」と回答した企業は25.9%（前期比+8.9%）、「減った」と回答した企業は26.7%（前期比▲12.1%）、「横ばい」と回答した企業は45.1%（前期比+4.5%）となっており、DI値は▲0.8（前期DI値▲21.8）と、前期比+21.0ポイントと大幅に改善した。

業種別にみると、全6業種において改善。具体的には、卸売業（前期▲16.3→今期+21.2、前期比+37.5）、運輸・倉庫業（▲37.5→▲6.9、前期比+30.6）、小売業（▲39.6→▲15.9、前期比+23.7）、製造業（▲26.5→▲8.2、前期比+18.3）、サービス業（▲8.2→+7.1、前期比+15.3）、建設業（▲32.0→▲19.8、前期比+12.2）と全業種において改善した。

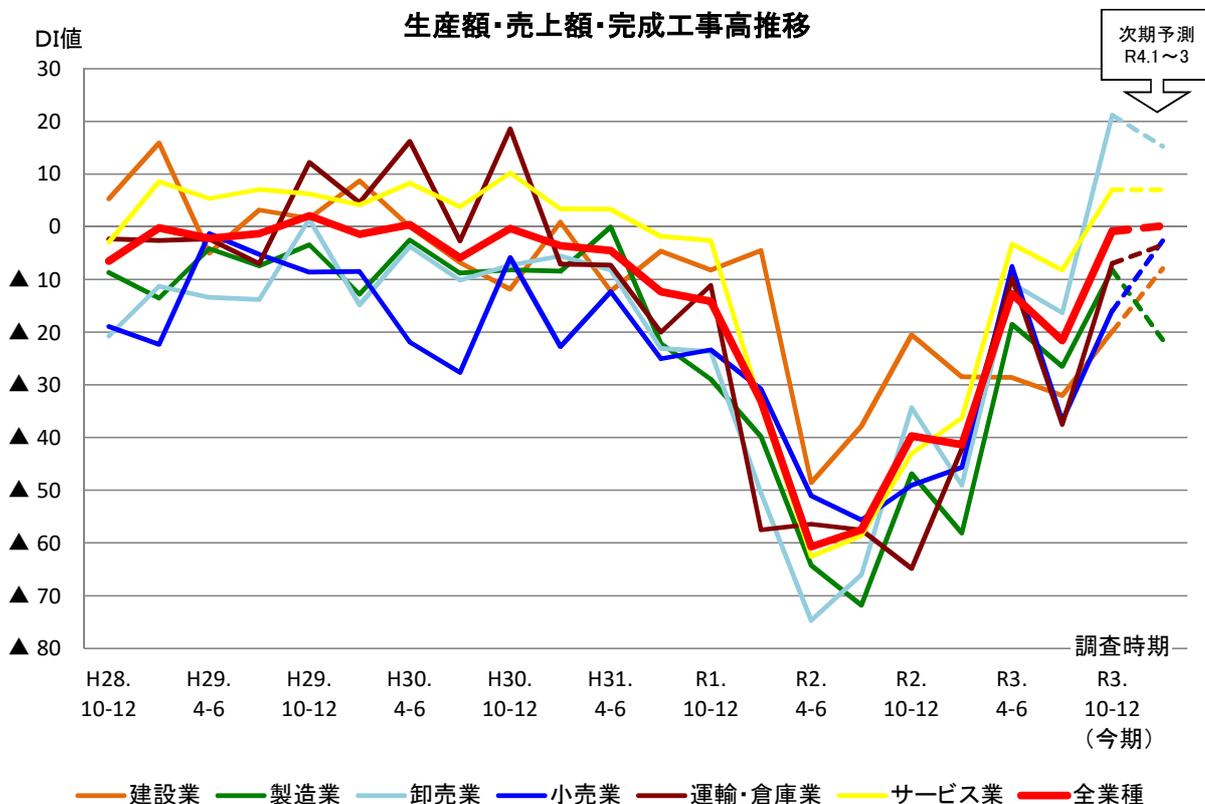
規模別にみると、中小企業（前期▲23.6→今期▲4.5）では前期比+19.1ポイント、大企業（+18.2→+69.6）では前期比+51.4ポイントといずれも改善した。

次四半期（令和4年1月～3月）予測については+0.2となっており、今期比+1.0ポイントと改善する見通し。

《生産額、売上額、完成工事高（前年同期と比較して）》

（単位 %）

	今四半期(R3年10月～12月期)実績							次四半期(R4年1月～3月期)予測						
	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値
全業種	7.5	18.4	45.1	17.9	8.8	2.4	▲0.8	3.4	17.5	40.4	14.5	6.2	17.9	0.2
建設業	4.0	5.9	59.4	20.8	8.9	1.0	▲19.8	2.0	10.9	51.5	15.8	5.0	14.9	▲7.9
製造業	9.8	23.0	24.6	24.6	16.4	1.6	▲8.2	4.9	9.8	26.2	23.0	13.1	23.0	▲21.4
卸売業	9.4	31.8	37.6	15.3	4.7	1.2	21.2	2.4	29.4	35.3	15.3	1.2	16.5	15.3
小売業	2.6	18.4	36.8	15.8	21.1	5.3	▲15.9	5.3	26.3	28.9	18.4	15.8	5.3	▲2.6
運輸・倉庫業	3.4	17.2	48.3	17.2	10.3	3.4	▲6.9	0.0	13.8	55.2	13.8	3.4	13.8	▲3.4
サービス業	9.7	17.5	49.4	15.6	4.5	3.2	7.1	4.5	16.9	41.6	9.1	5.2	22.7	7.1
中小企業	7.4	16.2	45.8	18.9	9.2	2.5	▲4.5	3.1	16.4	40.2	15.3	6.5	18.4	▲2.3
大企業	8.7	60.9	30.4	0.0	0.0	0.0	69.6	8.7	39.1	43.5	0.0	0.0	8.7	47.8



### 3. 原材料・製（商）品仕入価格

《前期に続いて大幅に上昇。次期はわずかに下落の見通し》

原材料・製（商）品仕入価格については、「上昇」と回答した企業は51.7%（前期比+15.7%）、「下落」と回答した企業は1.3%（前期比▲1.1%）、「横ばい」と回答した企業は38.7%（前期比▲10.3%）となっており、DI値は+50.4（前期DI値+33.6）と前期比+16.8ポイントと大幅に上昇。

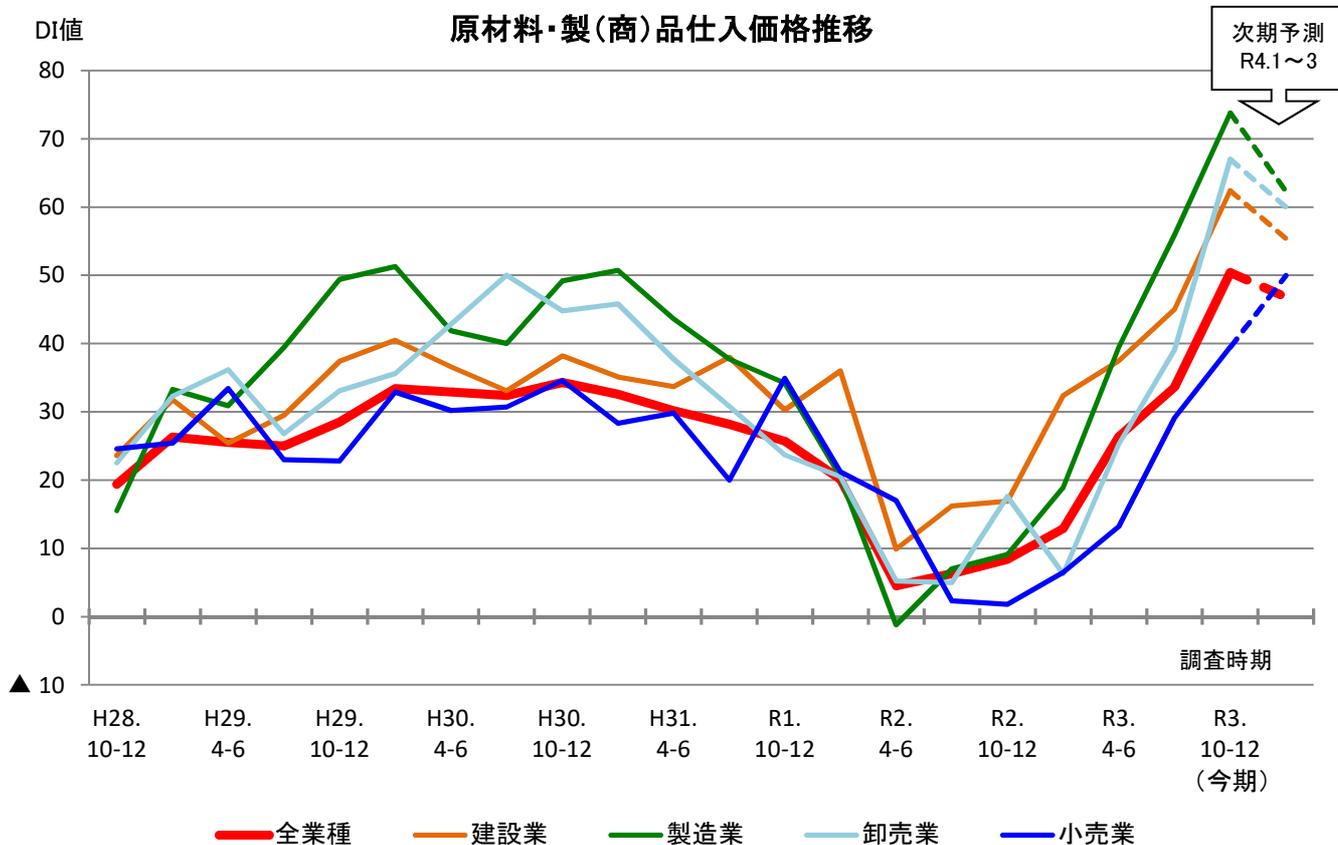
業種別にみると、全6業種において上昇。具体的には、卸売業（前期+39.1→今期+67.0、前期比+27.9）、製造業（+55.9→+73.8、前期比+17.9）、建設業（+45.0→+62.4、前期比+17.4）、運輸・倉庫業（+21.9→+37.9、前期比+16.0）、サービス業（+17.5→+29.3、前期比+11.8）、小売業（+29.1→+39.5、前期比+10.4）と上昇した。

規模別にみると、中小企業（前期+33.3→今期+50.6）では前期比+17.3ポイント、大企業（+40.9→+47.8）では前期比+6.9ポイントといずれも上昇した。

次四半期（令和4年1月～3月）予測については+46.8となっており、今期比▲3.6ポイントでわずかに下落の見通し。

《 原材料・製品仕入価格（前年同期と比較して） 》 (単位 %)

	今四半期(R3年10月～12月期)実績					次四半期(R4年1月～3月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	51.7	38.7	1.3	8.3	50.4	47.4	28.8	0.6	23.1	46.8
建設業	62.4	35.6	0.0	2.0	62.4	55.4	30.7	0.0	13.9	55.4
製造業	75.4	23.0	1.6	0.0	73.8	62.3	16.4	0.0	21.3	62.3
卸売業	68.2	29.4	1.2	1.2	67.0	60.0	22.4	0.0	17.6	60.0
小売業	47.4	42.1	7.9	2.6	39.5	52.6	39.5	2.6	5.3	50.0
運輸・倉庫業	37.9	24.1	0.0	37.9	37.9	34.5	20.7	0.0	44.8	34.5
サービス業	29.9	53.9	0.6	15.6	29.3	30.5	35.1	1.3	33.1	29.2
中小企業	51.9	38.2	1.3	8.5	50.6	47.6	28.1	0.7	23.6	46.9
大企業	47.8	47.8	0.0	4.3	47.8	43.5	43.5	0.0	13.0	43.5



#### 4. 受注価格、販売価格

《上昇、次期も上昇の見通し》

受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業は12.6%（前期比+4.4%）、「下落」と回答した企業は10.7%（前期比▲4.1%）、「横ばい」と回答した企業は71.4%（前期比+0.4%）となっており、DI値は+1.9（前期DI値▲6.6）と前期比+8.5ポイント上昇となった。

業種別にみると、全6業種において上昇。具体的には、卸売業（前期▲1.1→今期+17.7、前期比+18.8）、建設業（▲21.0→▲6.0、前期比+15.0）、運輸・倉庫業（▲6.3→+3.4、前期比+9.7）、製造業（▲1.4→+3.3、前期比+4.7）、小売業（▲4.2→±0.0、前期比+4.2）、サービス業（▲3.7→▲1.9、前期比+1.8）と上昇した。

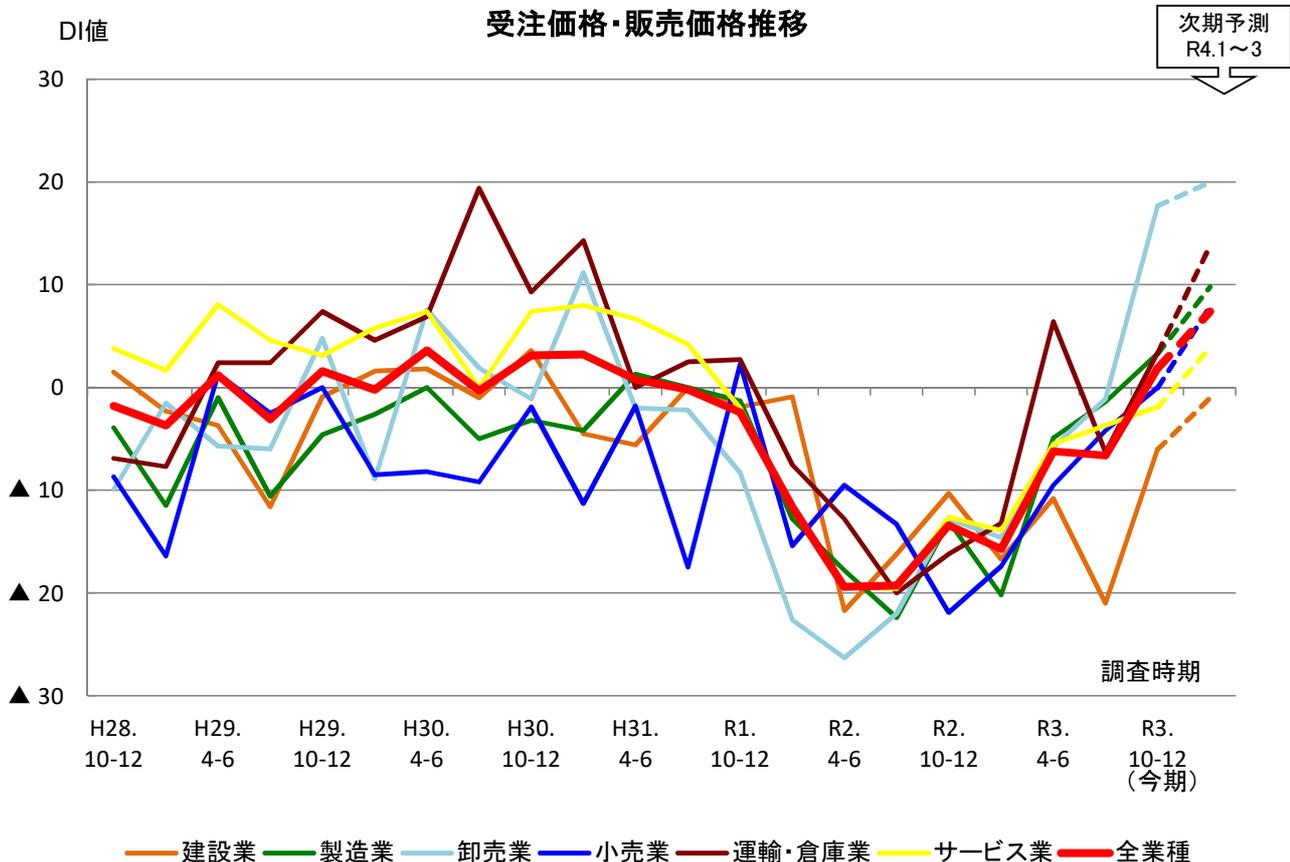
規模別にみると、中小企業（前期▲7.4→今期+1.1）では前期比+8.5ポイント、大企業（+9.1→+17.4）では前期比+8.3ポイントといずれも上昇した。

次四半期（令和4年1月～3月）予測については、+7.4となっており、今期比で+5.5ポイント上昇する見通し。

《 受注価格、販売価格（前年同月と比較して） 》

（単位 %）

	今四半期(R3年10月～12月期)実績					次四半期(R4年1月～3月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	12.6	71.4	10.7	5.3	1.9	14.7	56.2	7.3	21.8	7.4
建設業	5.9	79.2	11.9	3.0	▲6.0	8.9	65.3	9.9	15.8	▲1.0
製造業	13.1	75.4	9.8	1.6	3.3	16.4	54.1	6.6	23.0	9.8
卸売業	25.9	64.7	8.2	1.2	17.7	27.1	47.1	7.1	18.8	20.0
小売業	15.8	68.4	15.8	0.0	0.0	21.1	60.5	13.2	5.3	7.9
運輸・倉庫業	10.3	55.2	6.9	27.6	3.4	13.8	51.7	0.0	34.5	13.8
サービス業	9.1	72.1	11.0	7.8	▲1.9	9.7	55.8	5.8	28.6	3.9
中小企業	12.1	71.2	11.0	5.6	1.1	14.6	55.5	7.4	22.5	7.2
大企業	21.7	73.9	4.3	0.0	17.4	17.4	69.6	4.3	8.7	13.1



## 5. 製（商）品在庫

《適正方向へ推移、次期はやや過剰方向へ》

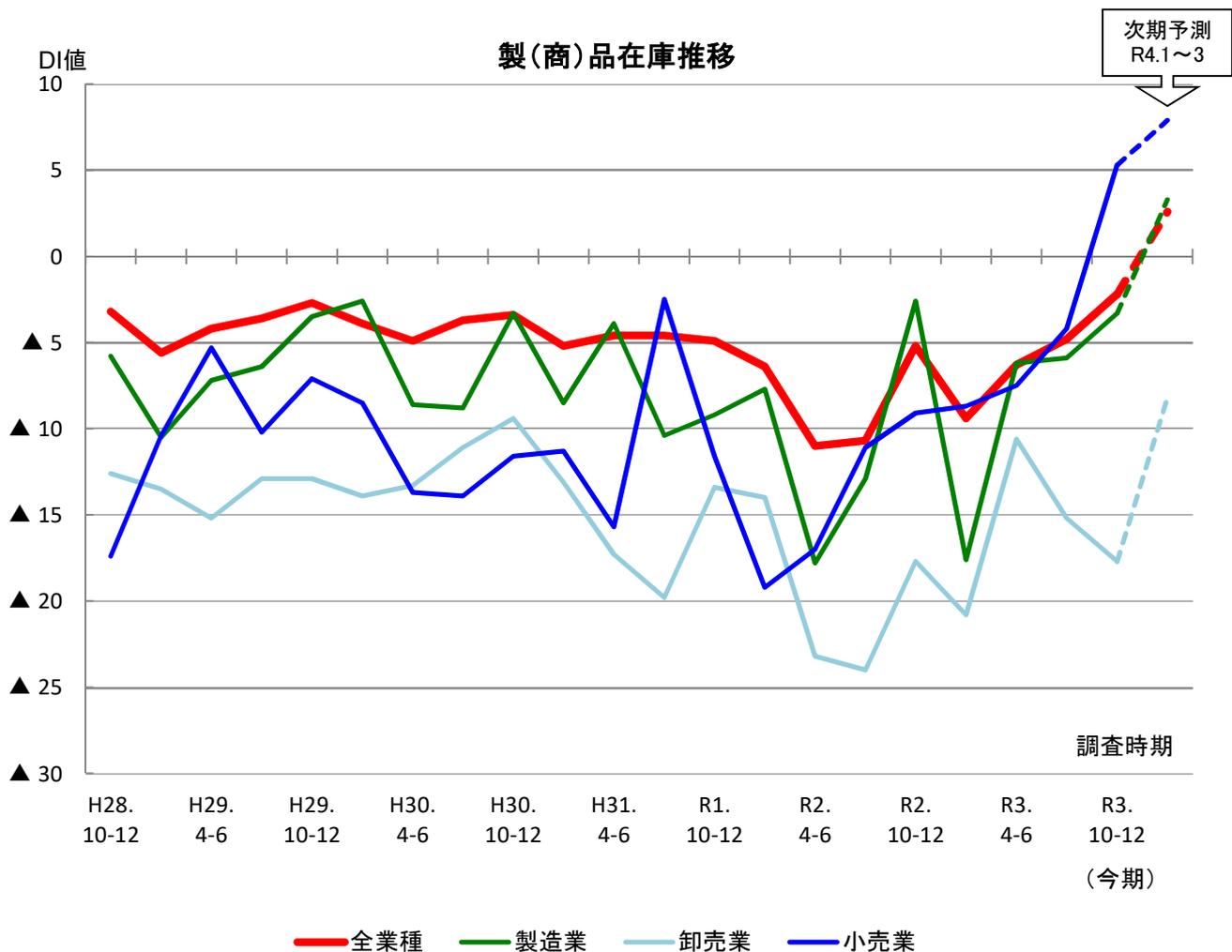
製（商）品在庫については、「適正」と回答した企業は64.1%（前期比+0.7%）、「不足」と回答した企業は6.8%（前期比+2.2%）、「過剰」と回答した企業は9.0%（前期比▲0.4%）となっており、DI値は▲2.2（前期DI値▲4.8）と前期比+2.6ポイント改善し、適正方向へ推移する結果となった。

次四半期（令和4年1月～3月）予測については、+2.6となっており、今期比+4.8ポイントで、やや過剰方向へ推移する見通し。

《製（商）品在庫（貴社の適正水準と比較して）》

（単位 %）

	今四半期(R3年10月～12月期)実績					次四半期(R4年1月～3月期)予測				
	不足	適正	過剰	未記入	DI値	不足	適正	過剰	未記入	DI値
全業種	6.8	64.1	9.0	20.1	▲2.2	7.1	55.3	4.5	33.1	2.6
建設業	7.9	56.4	1.0	34.7	6.9	8.9	45.5	0.0	45.5	8.9
製造業	9.8	73.8	13.1	3.3	▲3.3	8.2	63.9	4.9	23.0	3.3
卸売業	3.5	74.1	21.2	1.2	▲17.7	2.4	70.6	10.6	16.5	▲8.2
小売業	15.8	73.7	10.5	0.0	5.3	15.8	71.1	7.9	5.3	7.9
運輸・倉庫業	6.9	34.5	0.0	58.6	6.9	6.9	31.0	0.0	62.1	6.9
サービス業	4.5	63.0	7.1	25.3	▲2.6	5.8	50.6	3.9	39.6	1.9
中小企業	7.0	62.9	9.4	20.7	▲2.4	7.4	53.9	4.7	33.9	2.7
大企業	4.3	87.0	0.0	8.7	4.3	0.0	82.6	0.0	17.4	0.0



## 6. 営業利益

《大幅に改善。次期はわずかに改善の見通し》

営業利益については、「増加」と回答した企業は20.3%（前期比+6.5%）、「減少」と回答した企業は34.2%（前期比▲9.0%）、「横ばい」と回答した企業は43.8%（前期比+2.6%）となっており、DI値は▲13.9（前期DI値▲29.4）で前期比+15.5ポイントと大幅に改善。

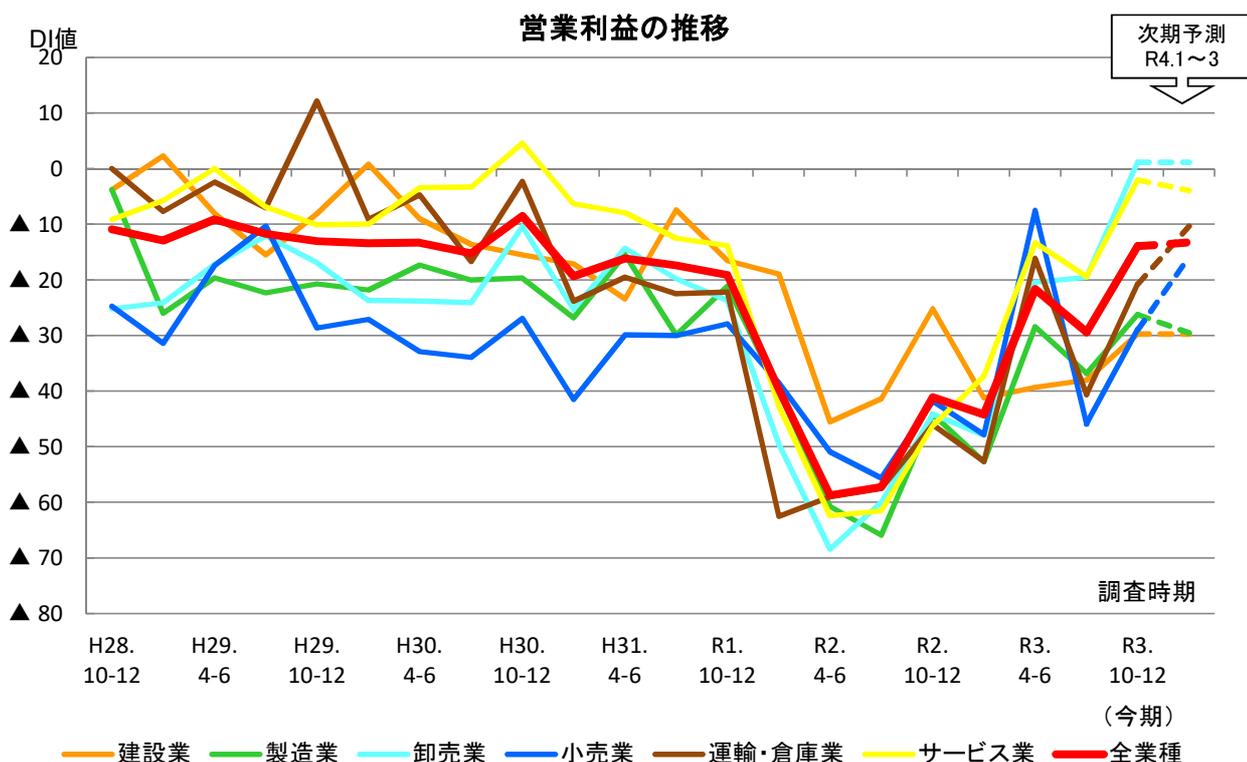
業種別にみると、全6業種において改善。具体的には、卸売業（前期▲19.5→今期+1.2、前期比+20.7）、運輸・倉庫業（▲40.6→▲20.7、前期比+19.9）、サービス業（▲19.4→▲2.0、前期比+17.4）、小売業（▲45.9→▲28.9、前期比+17.0）、製造業（▲36.8→▲26.2、前期比+10.6）、建設業（▲38.0→▲29.7、前期比+8.3）と改善した。

規模別にみると、中小企業（前期▲31.5→今期▲17.3）では前期比+14.2ポイント、大企業（+18.2→+52.2）では前期比+34.0ポイントと、ともに改善した。

次四半期（令和4年1月～3月）予測については、▲13.2となっており、今期比+0.7ポイントとわずかに改善する見通し。

《 営業利益（前年同期と比較して） 》 （単位 %）

	今四半期(R3年10月～12月期)実績					次四半期(R4年1月～3月期)予測				
	増加	横ばい	減少	未記入	DI値	増加	横ばい	減少	未記入	DI値
全業種	20.3	43.8	34.2	1.7	▲13.9	13.9	41.0	27.1	17.9	▲13.2
建設業	7.9	52.5	37.6	2.0	▲29.7	4.0	46.5	33.7	15.8	▲29.7
製造業	23.0	26.2	49.2	1.6	▲26.2	8.2	32.8	37.7	21.3	▲29.5
卸売業	27.1	47.1	25.9	0.0	1.2	20.0	45.9	18.8	15.3	1.2
小売業	13.2	44.7	42.1	0.0	▲28.9	23.7	31.6	39.5	5.3	▲15.8
運輸・倉庫業	20.7	34.5	41.4	3.4	▲20.7	13.8	48.3	24.1	13.8	▲10.3
サービス業	25.3	44.8	27.3	2.6	▲2.0	16.9	39.0	20.8	23.4	▲3.9
中小企業	18.2	44.5	35.5	1.8	▲17.3	12.1	40.9	28.5	18.4	▲16.4
大企業	60.9	30.4	8.7	0.0	52.2	47.8	43.5	0.0	8.7	47.8



## 7. 資金繰り

《わずかに改善。次期もさらに改善する見通し》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は8.3%（前期比+1.1%）、「苦しい」と回答した企業は19.4%（前期比▲0.2%）、「不変」と回答した企業は70.3%（前期比▲0.5%）となっており、DI値は▲11.1（前期DI値▲12.4）と前期比+1.3ポイントと改善した。

業種別にみると、全6業種中2業種において改善。具体的には、サービス業（前期▲19.3→今期▲10.4、前期比+8.9）、卸売業（▲10.9→▲10.6、前期比+0.3）においては改善した。また、建設業（▲1.0→▲1.0、前期比±0.0）では不変だった。一方で、小売業（▲14.6→▲23.6、前期比▲9.0）、製造業（▲16.2→▲23.0、前期比▲6.8）、運輸・倉庫業（▲6.2→▲10.4、前期比▲4.2）では悪化した。

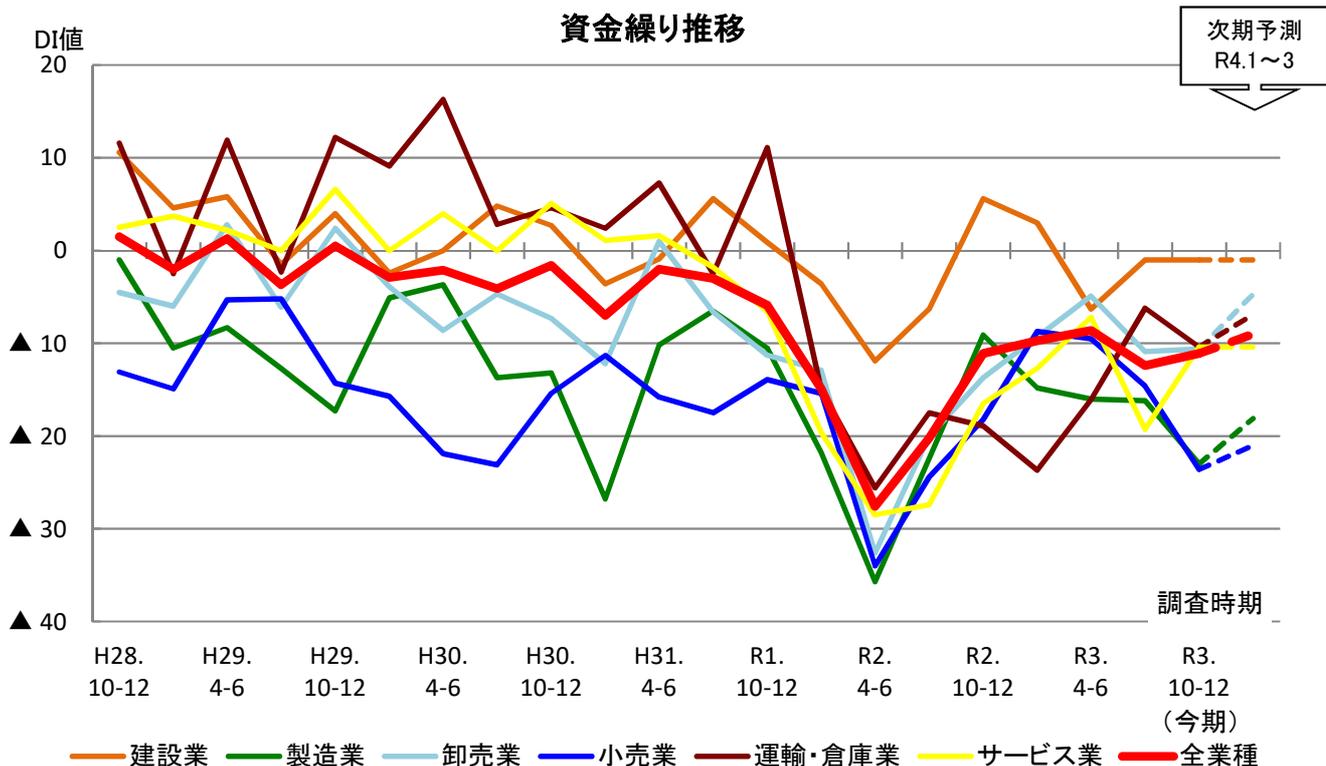
規模別にみると、中小企業（前期▲13.0→今期▲11.3）は前期比+1.7ポイントと改善、大企業（±0.0→▲8.7）では前期比▲8.7ポイントと悪化。

次四半期（令和4年1月～3月）予測については、▲9.0となっており、今期比で+2.1ポイントと改善の見通し。

《 資金繰り(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

	今四半期(R3年10月～12月期)実績					次四半期(R4年1月～3月期)予測				
	楽である	不変	苦しい	未記入	DI値	楽になる	不変	苦しくなる	未記入	DI値
全業種	8.3	70.3	19.4	1.9	▲11.1	6.4	60.3	15.4	17.9	▲9.0
建設業	7.9	81.2	8.9	2.0	▲1.0	6.9	71.3	7.9	13.9	▲1.0
製造業	4.9	67.2	27.9	0.0	▲23.0	4.9	50.8	23.0	21.3	▲18.1
卸売業	8.2	72.9	18.8	0.0	▲10.6	7.1	64.7	11.8	16.5	▲4.7
小売業	5.3	65.8	28.9	0.0	▲23.6	5.3	60.5	26.3	7.9	▲21.0
運輸・倉庫業	10.3	65.5	20.7	3.4	▲10.4	6.9	65.5	13.8	13.8	▲6.9
サービス業	10.4	64.9	20.8	3.9	▲10.4	6.5	53.2	16.9	23.4	▲10.4
中小企業	8.5	69.7	19.8	2.0	▲11.3	6.5	59.6	15.5	18.4	▲9.0
大企業	4.3	82.6	13.0	0.0	▲8.7	4.3	73.9	13.0	8.7	▲8.7



## 8. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点として最も多かったのは、「人材難、求人難、定着化の悪化」40.4%（前期比+5.2%）。次いで、「受注、需要の増加又は減少」36.8%（前期比▲9.2%）、「営業利益の低下」33.1%（前期比▲1.1%）、「原材料高、入手難」33.1%（前期比+11.3%）、「経費の増加」23.1%（前期比+1.9）となった。

業種別にみると、建設業、運輸・倉庫業、サービス業においては、「人材難、求人難、定着化の悪化」が最も多く、製造業、卸売業においては、「原材料高、入手難」が最も多く、小売業においては、「営業利益の低下」が最も多かった。

規模別にみると、中小企業においては、「人材難、求人難、定着化の悪化」が最も多く、大企業においては、「人材難、求人難、定着化の悪化」と、「営業利益の低下」が同率で最も多かった。

《 当面の経営上の問題点(複数回答可) 》

(単位 %)

問題点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	天候などの自然条件	受注、需要の増加又は減少	出店、業者、大型店の進	官公需要の停滞	輸出の不振	少元(直)請の減	低下業率、稼働率	難原材料高、入手	の出荷下、納品価格	過剰在庫	嫁販売価格への転	増加、不良債権の回収	化売、掛手期間の長期
全業種	16.9	36.8	4.9	9.2	1.3	3.4	6.4	33.1	2.8	3.6	19.9	0.6	2.1
建設業	15.8	39.6	4.0	12.9	0.0	9.9	2.0	40.6	2.0	0.0	11.9	1.0	4.0
製造業	1.6	44.3	4.9	1.6	3.3	1.6	13.1	62.3	4.9	3.3	39.3	0.0	1.6
卸売業	20.0	36.5	4.7	4.7	2.4	1.2	3.5	42.4	5.9	8.2	23.5	1.2	1.2
小売業	36.8	28.9	2.6	10.5	0.0	2.6	2.6	36.8	2.6	7.9	28.9	0.0	0.0
運輸・倉庫業	31.0	24.1	0.0	3.4	6.9	3.4	17.2	17.2	0.0	3.4	10.3	0.0	0.0
サービス業	14.3	36.4	7.1	13.0	0.0	1.3	7.1	13.6	1.3	2.6	14.9	0.6	2.6
中小企業	16.4	37.1	4.9	9.7	1.3	3.6	6.3	33.3	2.7	3.8	20.0	0.7	2.2
大企業	26.1	30.4	4.3	0.0	0.0	0.0	8.7	30.4	4.3	0.0	17.4	0.0	0.0

2位

3位

問題点	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	経費の増加	営業利益の低下	不陸、駐車場の狭	店舗の老朽化、近	代店、舗の設備、過	上家が賃り、地代の値	化難、材定着、化求人悪	費人増手過剰、人件	対労務管理、組合	資金借入難	金利負担の増加	難情報不足、入手	その他
全業種	23.1	33.1	3.0	9.2	1.5	40.4	8.1	6.2	3.8	4.9	4.3	6.2	3.4
建設業	23.8	21.8	4.0	3.0	1.0	56.4	5.9	6.9	2.0	5.9	4.0	3.0	5.0
製造業	23.0	47.5	3.3	16.4	0.0	26.2	4.9	3.3	3.3	4.9	4.9	3.3	0.0
卸売業	24.7	29.4	3.5	7.1	1.2	23.5	8.2	2.4	4.7	3.5	2.4	4.7	3.5
小売業	28.9	44.7	2.6	18.4	5.3	36.8	10.5	2.6	5.3	10.5	2.6	10.5	0.0
運輸・倉庫業	27.6	34.5	0.0	13.8	3.4	41.4	6.9	10.3	3.4	0.0	3.4	17.2	6.9
サービス業	19.5	33.8	2.6	8.4	1.3	45.5	10.4	9.1	4.5	4.5	5.8	7.1	3.9
中小企業	22.9	33.0	2.9	8.8	1.6	40.7	8.1	6.1	4.0	4.9	4.3	6.5	3.4
大企業	26.1	34.8	4.3	17.4	0.0	34.8	8.7	8.7	0.0	4.3	4.3	0.0	4.3

5位

3位

1位

